

市内遺跡試掘調査報告書

—平成26年度から平成29年度まで—

令和6年3月

一関市教育委員会

序

一関市には、900を超える埋蔵文化財包蔵地が所在しています。市内で行われる開発行為が埋蔵文化財包蔵地の範囲内で実施される場合には、事業者と協議し、試掘調査や工事立会を実施しています。その中で遺構・遺物を確認した場合には、緊急発掘調査を実施することを通じて、埋蔵文化財の保護を行っています。

しかし、そうした調査を報告書という形で残すことについては、完全に実施できていたわけではありませんでした。そこで、今回は平成26年度から29年度までに実施した試掘調査の記録を報告書にまとめることといたしました。これまで市教育委員会が実施してきた調査内容を後世に伝え、埋蔵文化財の保護をさらに推進していきたいと考えております。

本報告書により、調査成果を広く公開し、市民並びに全国の方々にも当市の文化財を知って頂き、関心が高まることを期待するとともに、地域のルーツを紐解いていくことが、より良い地域づくりの一助になれば望外の喜びです。

結びに、調査に際してご協力を頂きました地権者、地域住民の皆さまをはじめ多くの方々に衷心より感謝を申し上げます。

令和6年3月

一関市教育委員会

教育長 時 枝 直 樹

例 言

1. 本書は、岩手県一関市教育委員会が平成26年度から平成29年度までに実施した市内遺跡試掘調査の報告書である。
2. 調査は、国庫補助事業及び県補助事業を活用した。
3. 調査主体は、一関市教育委員会 教育長 小菅正晴（平成26～29年度）であり、現地調査は、平成26年度は生涯学習文化課、平成27年度以降は文化財課が担当した。また、岩手県教育委員会の協力を得た。

4. 調査体制は以下のとおり。

（平成26年度）

一関市教育委員会	生涯学習文化課		課長	今野 薫	
	文化財係		長	畠山 浩	
	学芸員		員	鈴木 弘太	
	文化財調査		研究員	山川 純一	
				二階堂 里絵	
				澤 目 雄大	

（平成27年度）

一関市教育委員会	文化財課		課長	佐藤 武生	
	文化財係		長	畠山 浩	
	学芸員		員	磯部 孝明	
	文化財調査		研究員	山川 純一	
				二階堂 里絵	

（平成28年度）

一関市教育委員会	文化財課		課長	佐藤 武生	
	文化財係		長	畠山 浩	
	学芸員		員	菅原 孝明	（旧姓磯部）
	文化財調査		研究員	山川 純一	
				二階堂 里絵	

（平成29年度）

一関市教育委員会	文化財課		課長	佐藤 武生	
	文化財係		長	坂本 光司	
	学芸員		員	菅原 孝明	
	文化財調査		研究員	二階堂 里絵	

5. 本書の作成は令和5年度の文化財課が行った。体制は以下のとおりである。編集は菅原が行った。

一関市教育委員会	文化財課		課長	氏家 克典	
	課長補佐兼文化財係		長	金野 修	
	学芸主査		員	菅原 孝明	
	文化財調査		研究員	光井 文行	
				阿部 充	
			会計年度任用職員	小岩 誠也	

6. 本書に使用した地形図は、一関市長の承認を得て、測量成果を使用したものである。
（許可番号 令和6年3月14日 政第12007号）
7. 土層断面図の土色表示は、新版標準土色帖2002年度版（日本色研事業株式会社）を用いている。

目 次

序	1
例言	3
目次	4
遺跡地図.....	5
I 平成26年度調査	6
II 平成27年度調査	18
III 平成28年度調査	24
IV 平成29年度調査	30

I 平成26年度調査

1 舞草神社西遺跡

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所在地 | 一関市舞川字大平5-1 |
| 2 | 調査期日 | 平成26年8月28日 |
| 3 | 調査者 | 学芸員 鈴木弘太 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 | 遺跡の種類 | 散布地（古代、平安） |
| 5 | 遺跡の現状 | 神社境内地の一部 |
| 6 | 工事主体者 | 一関市（一関西消防署） |
| 7 | 工事の目的 | 潜函式防火水槽（鋼製）の設置工事（GL-3m30cm） |
| 8 | 調査方法 | トレンチ1か所（25㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | 現地表下2m20cmまで掘り下げたが現代の造成層であり、さらに地山を50cm掘り下げたが、遺構・遺物は確認できなかった。 |
- (1) 基本層序
- I層：表土。碎石層。現代の道路表面の整地層。厚さ50cm。
 - II層：暗灰色粘土質シルト。現代の造成層。碎石、礫、岩塊を含む。グライ化著しい。厚さ1m30cm。
 - III層：黄褐色粘土質シルト。II層より古い時期（現代？）の造成層。地山（粘土質シルト）と碎石、礫の混在層。厚さ40cm。
 - IV層：黄褐色粘土質シルト。地山。礫少量混入。厚さ50cm以上で、さらに下部へと続く。
- (2) 検出遺構 なし
- (3) 出土遺物 なし
- (4) 時代 現代
- (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成26年9月1日付教生第06002号文書により勧告した。

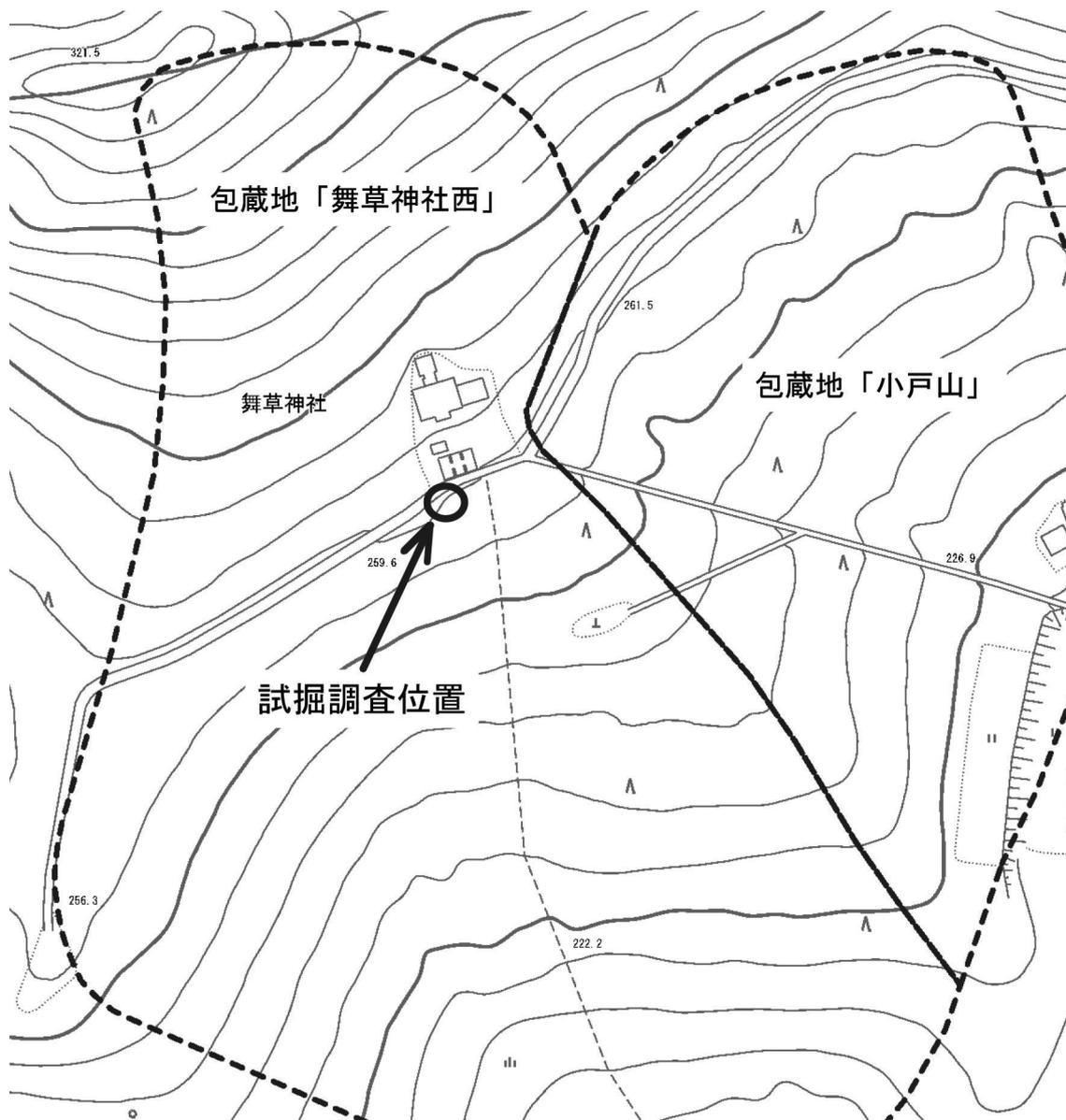


図2 舞草神社西試掘調査位置図
(上が北、S=1 : 2500)

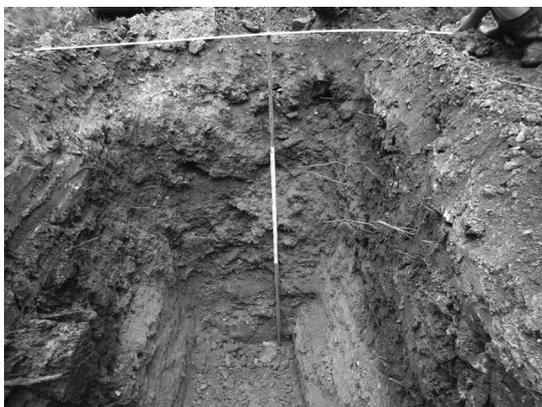


写真1 掘削状況



写真2 掘削終了

2 臥牛館遺跡

- | | |
|---------|--|
| 1 所在地 | 一関市山目字館46-1 |
| 2 調査期日 | 平成26年10月28日 |
| 3 調査者 | 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 遺跡の現状 | 学校用地 |
| 6 工事主体者 | 一関市（教育総務課） |
| 7 工事の目的 | 進入路設置工事 |
| 8 調査方法 | トレンチ1か所（約45㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 調査結果 | 現地表下60cmまでは表土及び現代の造成層であり、その下で確認できた沢の堆積層及び地山上面からは、遺構・遺物は確認できなかった。 |
- (1) 基本層序
- I層：黒褐色粘土質シルト。表土。最上部は腐葉土からなる。厚さ約15～30cm。
- II層：灰黄褐色粘土質シルト。現代の造成層。I・IV層が混在する。厚さ30cm前後。
- III層：黒褐色粘土質シルト。沢の堆積層。厚さ約30～45cm。
- IV層：褐色粘土質シルト。地山。微砂粒が多量に混入し、ざらつく。北端付近では、明黄褐色砂質シルトを挟む。厚さ60cm以上で、さらに下部へと続く。
- (2) 検出遺構 なし
- (3) 出土遺物 なし
- (4) 時代 現代
- (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成26年11月4日付教生第08005号文書により勧告した。

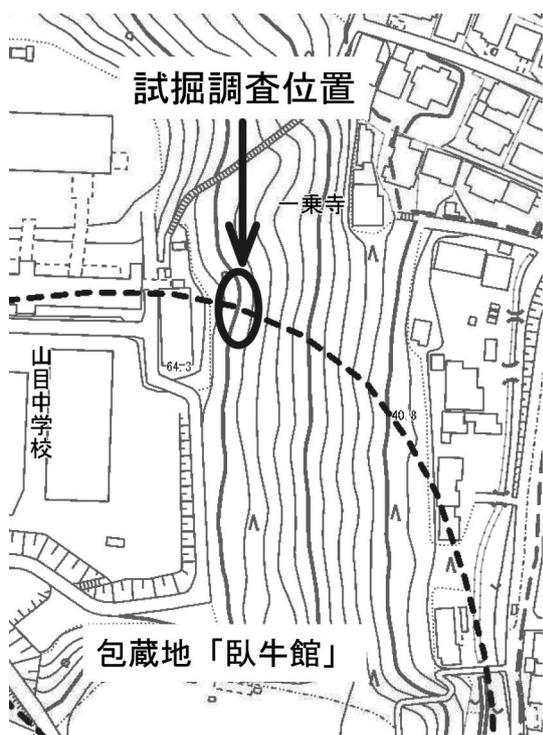


図3 臥牛館試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

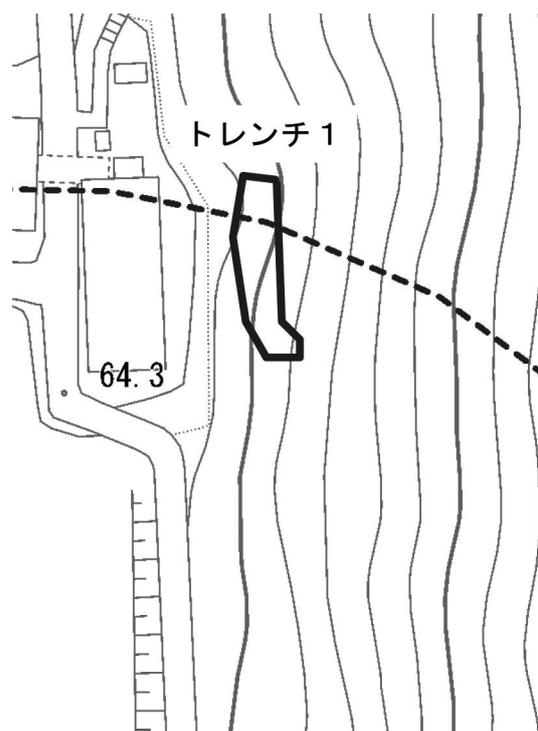


図4 臥牛館トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真3 重機による掘削状況



写真4 北半部掘削状況



写真5 南半部掘削状況



写真6 南東部掘削状況

3 金田城（樋ノ口館）遺跡（第1次）

- 1 所在地 一関市千厩町清田字融実26-1、27-1、34-1、38、41-2
- 2 調査期日 平成26年11月25日
- 3 調査者 文化財調査研究員 山川純一
- 4 遺跡の種類 城館跡（中世）
- 5 遺跡の現状 宅地、山林
- 6 工事主体者 株式会社エプセム
- 7 工事の目的 太陽光パネル設置工事（GL-2m18cm）
- 8 調査方法 トレンチ7か所（合計1,116㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 トレンチ1、2、5、6、7で遺構を確認したほか、地表面上でも段切り造成によって人工的に地形を改変してつくられた平場、空堀、通路など城にかかわる遺構を確認した。
 - (1) 基本層序 I層：黒褐色粘土質シルト。腐植土。赤味がかかる。表土。
II層：黒色粘土質シルト。谷の埋没土。
III層：黄褐色粘土質シルト。ローム質の地山。
IV層：にぶい黄橙色砂。花崗岩風化土（いわゆる真砂土）。部分的に浅黄橙色砂質シルトを挟む。地山。
 - (2) 検出遺構 トレンチ1：柱穴2、トレンチ2：堀1、トレンチ5：溝1、トレンチ6：溝1、トレンチ7：土坑1、溝3
 - (3) 出土遺物 なし
 - (4) 時代 中世か
 - (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構を確認したため、試掘調査の結果について平成26年12月2日付教生第09005号文書により以下のとおり回答した。すなわち、一関市千厩町清田字融実26-1の南側、27-1、38の南側については工事着手が可能であること、それ以外の部分については工事実施に際して事前の発掘調査が必要であること、ただし計画変更に係る協議により埋蔵文化財に影響がないと判断される場合はこの限りではないこと、である。



図5 金田城試掘調査位置図(1)
(上が北、S=1:2500)

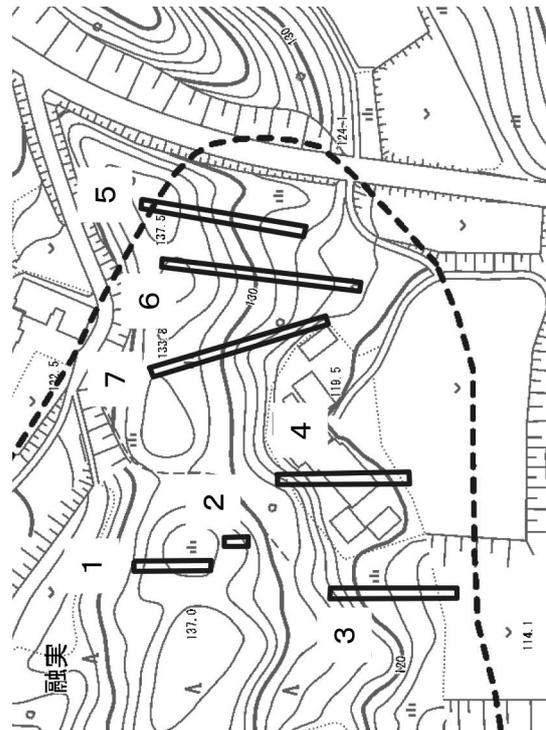


図6 金田城トレンチ図(1)
(左が北、S=1:2500)



写真7 トレンチ1柱穴確認



写真8 トレンチ2溝確認



写真9 トレンチ6溝確認



写真10 トレンチ7土坑確認

4 金田城（樋ノ口館）遺跡（第2次）

- | | |
|---------|---|
| 1 所在地 | 一関市千厩町清田字融実34-2 |
| 2 調査期日 | 平成26年12月24日 |
| 3 調査者 | 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 遺跡の現状 | 山林 |
| 6 工事主体者 | 株式会社エプセム |
| 7 工事の目的 | 太陽光パネル設置工事に伴う切土造成（GL- 5m） |
| 8 調査方法 | トレンチ1か所（64㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 調査結果 | 前回調査の7トレンチの位置を避けるように太陽光パネルの設置位置を変更する計画であったが、隣接地であり切土造成が最大掘削深度5mに及ぶことから試掘調査を行った。その結果、遺構・遺物は確認できなかった。 |
- (1) 基本層序
- I層：黒褐色粘土質シルト。腐植土。赤味がかかる。表土。
攪乱1層：腐植土を含む黒褐色粘土質シルト、真砂土風化によるにぶい黄褐色砂質シルト、真砂土起源のにぶい黄橙色砂ブロックの混在層。旧墓地改葬による。
攪乱2層：上層（黒褐色粘土質シルト）・下層（褐色粘土質シルト）からなる。近代以降の地境溝か。
- II層：にぶい黄橙色砂。花崗岩風化土（いわゆる真砂土）。部分的に浅黄橙色砂質シルトを挟む。地山。
- (2) 検出遺構 なし
- (3) 出土遺物 なし
- (4) 時代 近代以降
- (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構・遺物は確認できなかったため、試掘調査の結果、慎重に工事を進めてよい旨を平成26年12月25日付教生第09020号文書により指示した。
- なお、さらに西側の隣接地である一関市千厩町清田字融実41-2では、斜面崩壊の危険性を軽減する最低限度の掘削の計画があったため、平成27年1月15日に工事立会を実施している。その結果、遺構・遺物は確認できなかった。



図7 金田城試掘調査位置図 (2)
(上が北、S=1 : 2500)

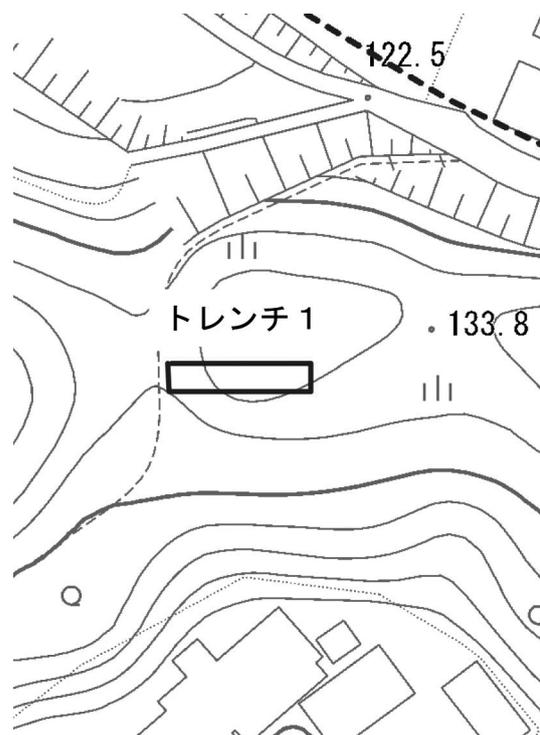


図8 金田城トレンチ図 (2)
(上が北、S=1 : 1000)



写真11 調査前



写真12 中央部確認状況



写真13 北東部確認状況



写真14 南東部確認状況

5 曲田館（大西館）遺跡

- | | | |
|----|----------|--|
| 1 | 所在地 | 一関市藤沢町黄海字上曲田161-8、174-10 |
| 2 | 調査期日 | 平成26年12月18日 |
| 3 | 調査者 | 学芸員 鈴木弘太 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 | 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 | 遺跡の現状 | 田 |
| 6 | 工事主体者 | 個人 |
| 7 | 工事の目的 | 北上川治水対策事業に係る個人住宅新築工事 |
| 8 | 調査方法 | トレンチ2か所（16㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | 当該箇所は包蔵地「曲田館」の隣接地にあたり、岩手県教育委員会が平成26年1月29日に実施した分布調査により「可能性あり」と判断されたため、試掘調査を実施した。トレンチ1（長さ5m×幅2m）、トレンチ2（長さ3m×幅2m）とも、現地表下20cmまでは現代の水田耕作土層であり、その下の地山上面から遺構・遺物は確認できなかった。 |
| | (1) 基本層序 | I層：10YR5/4にぶい黄褐色粘土質シルト。表土。現代の水田耕作土。厚さ約20cm。
II層：10YR7/8黄橙色粘土質シルト。（トレンチ1の）地山。厚さ120cm以上。
III層：10YR7/6明黄褐色粘土質シルト。（トレンチ2の）地山。厚さ20cm以上。 |
| | (2) 検出遺構 | なし |
| | (3) 出土遺物 | なし |
| | (4) 時代 | 現代 |
| | (5) その他 | なし |
| 10 | 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を口頭で伝達した。 |



図9 曲田館試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

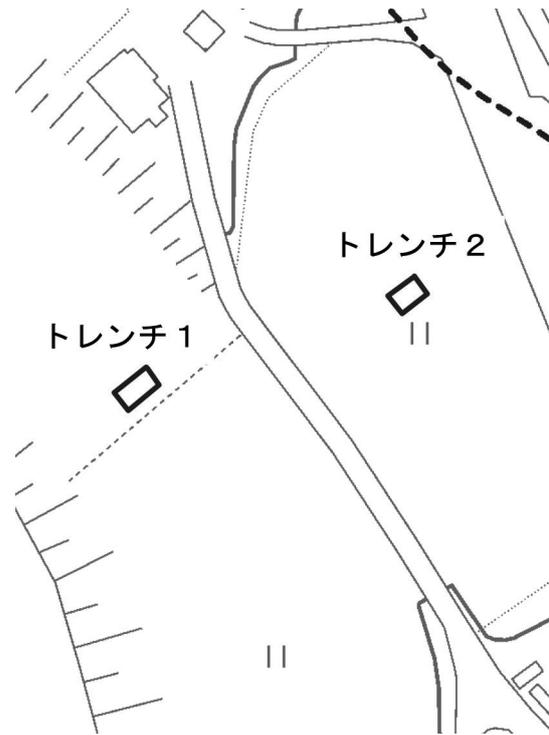


図10 曲田館トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真15 トレンチ1調査前状況



写真16 トレンチ1土層断面



写真17 トレンチ2調査前状況



写真18 トレンチ2土層断面

6 滝沢水口遺跡

- | | |
|----------|---|
| 1 所在地 | 一関市滝沢字水口83-26 |
| 2 調査期日 | 平成27年3月30日 |
| 3 調査者 | 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 遺跡の種類 | 散布地（縄文） |
| 5 遺跡の現状 | 原野 |
| 6 工事主体者 | 個人 |
| 7 工事の目的 | 個人住宅新築工事（GL-60cm） |
| 8 調査方法 | トレンチ2か所（28㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 調査結果 | トレンチ1（長さ8m×幅2m）、トレンチ2（長さ6m×幅2m）とも、
現地 表下80cmまでは表土及び現代の造成層であり、その下の地山上面から
遺構・遺物は確認できなかった。 |
| (1) 基本層序 | I層：10YR3/4暗褐色粘土質シルト。粘性中。しまり中。上部に木・草の根を
多量に混入。表土および現代の整地土。層厚20～60cm。
II層：10YR3/3暗褐色粘土質シルト。粘性極めて強。しまり中。明瞭な混入物
なし。層厚20cm。
III層：10YR5/6黄褐色粘土質シルト。粘性ややあり。しまりやや強。φ2～
20cm大の礫をやや多く含む。地山。層厚40cm以上。 |
| (2) 検出遺構 | なし |
| (3) 出土遺物 | なし |
| (4) 時代 | 現代 |
| (5) その他 | なし |
| 10 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成27
年3月31日付教生第12039号文書により指示した。 |



図11 滝沢水口試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

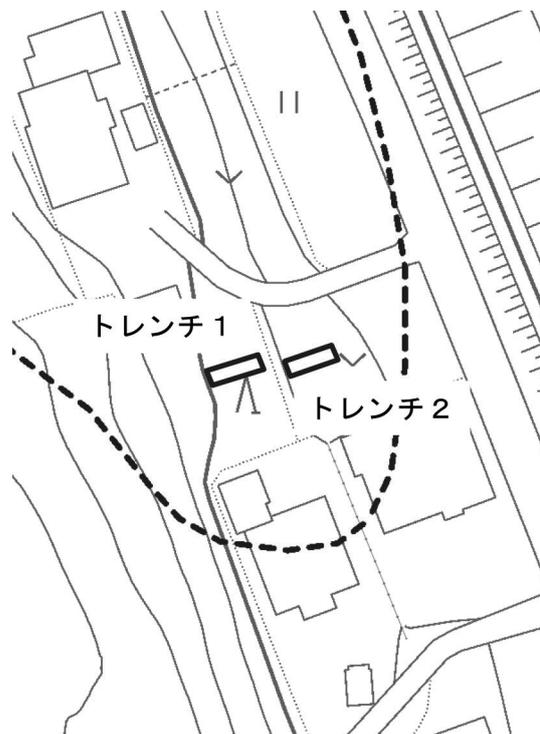


図12 滝沢水口トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真19 調査前状況



写真20 トレンチ1全景



写真21 トレンチ2全景



写真22 調査後状況

II 平成27年度調査

7 岩の下屋敷遺跡

- 1 所在地 一関市東山町松川字岩ノ下195-1
- 2 調査期日 平成27年9月15日
- 3 調査者 文化財調査研究員 山川純一
- 4 遺跡の種類 屋敷跡（近世）
- 5 遺跡の現状 畑地
- 6 工事主体者 個人
- 7 工事の目的 太陽光パネル設置工事（GL- 1m40cm）
- 8 調査方法 トレンチ9か所（72㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 トレンチ9か所のうち、トレンチ3（長さ4m×幅2m）の壁面で堀1条を確認した。堀の断面を確認し、写真撮影及び断面図作成・土層注記を行い、堀がそれぞれ南北に延びていくことを確認した。

（1）基本層序

I層：10YR3/2黒褐色粘土質シルト。粘性強。しまり強。表土。盛土。人為埋土。厚さ50～100cm。

II層：10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土。粘性極めて強い。しまり強い。明瞭な混入物なし。下部グライ化。自然堆積層。厚さ10～90cm。

A層：10YR3/3暗褐色粘土質シルト。粘性強い。しまりやや強い。処々に10YR4/3にぶい黄褐色砂を層状に含む。堀埋土①。自然堆積。厚さ10～60cm。

B層：10YR4/2灰黄褐色粘土質シルト。粘性強い。しまりやや強い。処々に10YR4/3にぶい黄褐色砂を層状に含む。下部に酸化鉄を帯状に含む。堀埋土②。自然堆積。厚さ10～50cm。

C層：10YR4/3にぶい黄褐色シルト質粘土。粘性ややあり。しまり強い。10YR4/4褐色（酸化鉄の影響で赤味がかかる）砂を多量に含む。堀埋土③。自然堆積。厚さ10～15cm。

D層：B層と同じ。堀埋土④。自然堆積。厚さ10～50cm。

（2）検出遺構 トレンチ3：堀1

（3）出土遺物 なし

（4）時代 近世か。地権者によれば、大肝入屋敷の内門と外門の間に方形の堀があったということであり、それを確認した可能性が高い。

（5）その他 なし

- 10 取り扱い 堀の分布密度は希薄であること、スクリー杭による掘削であり遺構へ与える影響が少ないと考えられるため、慎重に工事を進めてよい旨を平成27年9月17日付教文第06006号文書で指示した。

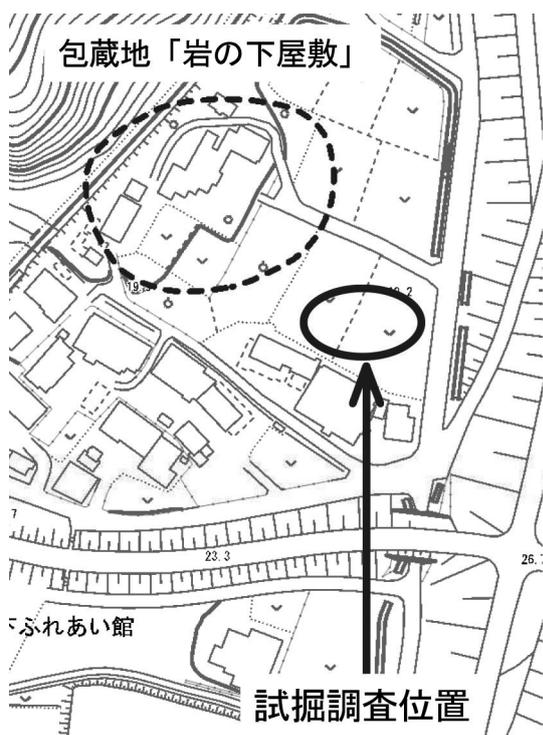


図13 岩の下屋敷試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

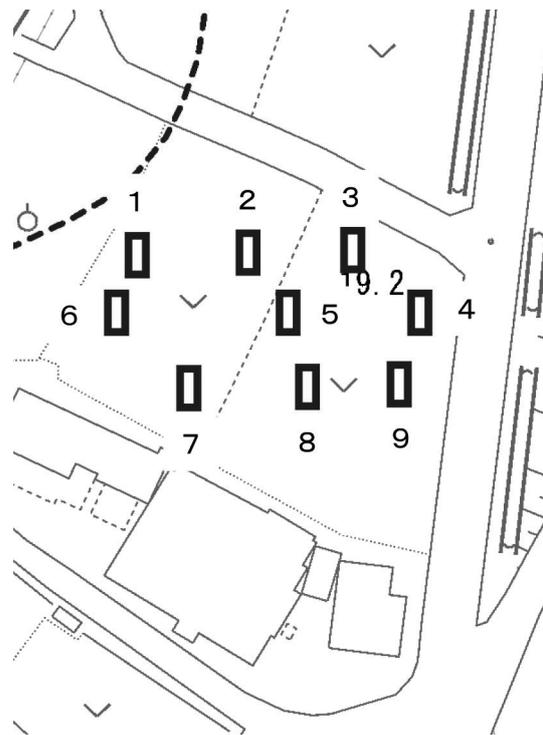


図14 岩の下屋敷トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真23 トレンチ3全景



写真24 トレンチ3南壁



写真25 トレンチ3西壁



写真26 トレンチ3北壁

8 木六館（黄鹿館）遺跡

- 1 所在地 一関市千厩町千厩字上木六254
- 2 調査期日 平成27年10月20日
- 3 調査者 文化財調査研究員 山川純一
- 4 遺跡の種類 城館跡（中世）
- 5 遺跡の現状 畑地
- 6 工事主体者 個人
- 7 工事の目的 宅地災害に伴う宅地保全のための擁壁設置工事
- 8 調査方法 トレンチ1か所(約110㎡)を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 トレンチ（長さ20m、東幅7m、西幅4m）の北東端から、土坑1基、鉄滓、羽口、炭化物を確認した。土坑の土は赤色であり、出土遺物と合わせて考えると、鍛冶関連の遺構と考えられる。
 - (1) 基本層序 I層：10YR4/2灰黄褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまりややあり。金雲母薄片多量、炭化物粒極微量含む。表土。厚さ15cm。
II層：10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまり強い。金雲母薄片やや多く、炭化物粒微量含む。厚さ20cm。
III層：10YR3/5暗褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまり極めて強い。炭化物粒微量含む。IV層になる可能性のある10YR4/4褐色粘土質シルトをブロック状に含む。遺構確認面。厚さ10cm以上。東側は厚い。中央・西側は薄く、下部層（IV層になる可能性のある10YR4/4褐色粘土質シルト）のブロックの混入が多い。
 - (2) 検出遺構 土坑
 - (3) 出土遺物 羽口、鉄滓、炭化物
 - (4) 時代 中世
 - (5) その他 なし
- 10 取り扱い 館にかかわる遺構・遺物を確認したため、現在の計画で事業を進める場合は、事前の発掘調査が必要である旨を平成27年10月27日付教文第07008号文書で指示した。

その後、届出者から事業中止の連絡があったため、発掘調査は実施していない。



図15 木六館試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

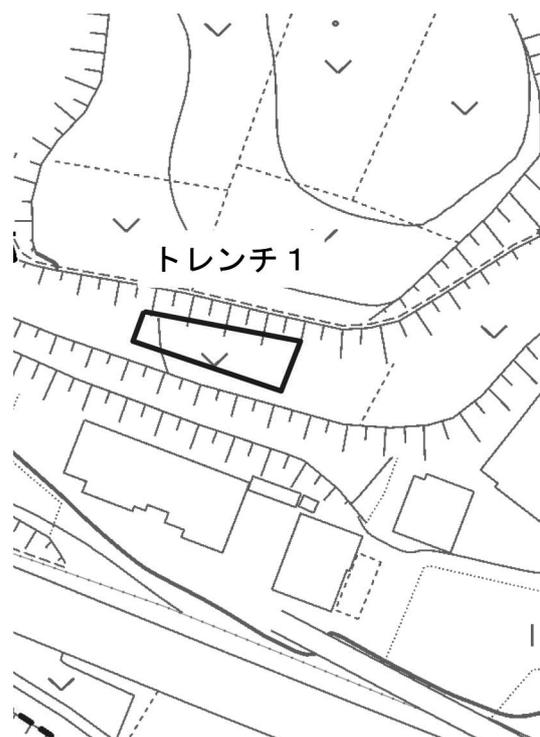


図16 木六館トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真27 掘削状況 (東から)



写真28 土坑確認状況 (南から)



写真29 羽口 (内面)



写真30 鉄滓

9 奈良坂遺跡

- 1 所在地 一関市花泉町花泉字境前54、55、56、57
- 2 調査期日 平成28年2月8日～2月19日
- 3 調査者 文化財調査研究員 山川純一
- 4 遺跡の種類 散布地（縄文）
- 5 遺跡の現状 水田
- 6 工事主体者 花泉土地改良区
- 7 工事の目的 暗渠排水設置工事
- 8 調査方法 トレンチ8か所（約1,440㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 複数のトレンチ（1か所あたり長さ90m×幅2m）から、915年に降下した十和田a火山灰と思われる灰白火山灰層を確認し、その上下から旧水田の区画、畦畔、旧河川を確認した。

（1）基本層序

- I層：2.5Y4/2暗灰黄色粘土質シルト。粘性極めて強い。しまりやや弱い。現代の水田層。
 - II層：2.5YR4/1黄灰色粘土質シルト。粘性極めて強い。しまり強い。炭化物粒極微量含む。現代もしくは近代の水田層。
 - III層：7.5Y3/1オリーブ黒色粘土。粘性極めて強い。しまり強い。近世もしくは中世の水田層か。下部は2.5GY4/1暗オリーブ灰色粘土、5GY3/1および4/1暗オリーブ灰色砂を層状に含む。旧河川、溝の堆積土中には部分的に砂礫～人頭大の礫を多量に混入する。下部グライ化。
 - IV層：10YR2/1黒色粘土質シルト。粘性極めて強い。しまり強い。灰白火山灰の直上にのり、部分的にみられる。自然堆積。
 - V層：10YR7/1灰白色火山灰。粘性なし。しまり極めて強い。部分的に10YR3/2黒褐色粘土質シルトが層状にごく薄く入る。915年降灰の十和田a火山灰水成堆積。
 - VI層：5GY4/1暗オリーブ灰色粘土質シルト。粘性極めて強い。しまりやや強い。炭化物粒微量含む。灰白火山灰の直下にある。灰白火山灰で埋没した古代の水田層。
 - VII層：2.5Y4/2暗灰黄色粘土。粘性極めて強い。しまり極めて強い。酸化鉄粒、マンガン粒を極めて多量含む。部分的にグライ化。相対的な地山。
 - VIII層：5GY4/1暗オリーブ灰色細砂。粘性なし。しまりやや強い。明瞭な混入物なし。グライ化。
 - IX層：10YR3/2黒褐色粘土質シルト。粘性強い。しまりあり。炭化物粒極微量含む。植物遺体（スクモ）層。VIIIの下層にあるが、VIIIとVIIIに挟まる部分もみられる。
- （2）検出遺構 旧水田の区画、畦畔、旧河川
 - （3）出土遺物 なし
 - （4）時代 古代以前
 - （5）その他 なし
- 10 取り扱い 旧水田の区画、畦畔、旧河川を確認したが、工事の掘削深度では、遺構へ与える影響は少ないと考えられるため、慎重に工事を進めてよい旨を平成28年3月1日付教文第12001号文書で指示した。



図17 奈良坂試掘調査位置図
(上が北、S=1：2500)

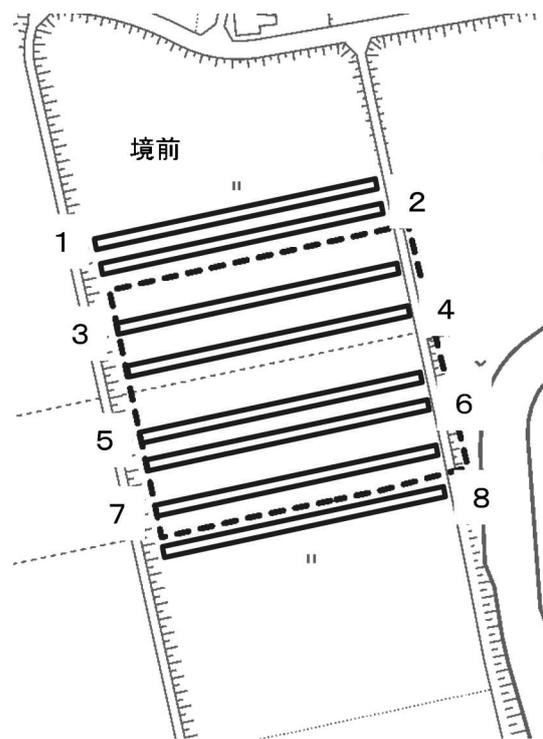


図18 奈良坂トレンチ図
(上が北、S=1：2500)



写真31 調査状況



写真32 火山灰層で埋没する水田(トレンチ4)



写真33 火山灰層に覆われる水田(トレンチ5)



写真34 水田遺構確認状況(トレンチ7)

Ⅲ 平成28年度調査

10 小松柵擬定地遺跡

- | | |
|---------|---|
| 1 所在地 | 一関市萩荘字谷起島南方40-1 |
| 2 調査期日 | 平成28年7月4日 |
| 3 調査者 | 学芸員 菅原孝明 文化財調査研究員 山川純一 |
| 4 遺跡の種類 | 城館跡（平安） |
| 5 遺跡の現状 | 山林 |
| 6 工事主体者 | 株式会社NTTドコモ |
| 7 工事の目的 | 携帯電話無線基地局建設工事 |
| 8 調査方法 | トレンチ2か所（約10㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 調査結果 | トレンチ（1か所あたり長さ5m×幅1m）からは、遺構・遺物は確認できなかった。 |
- (1) 基本層序
- I層：10YR3/2黒褐色粘土質シルト。粘性中。しまり極めて弱い。表層は腐植土、木の根が混じる。表土①。層厚約10cm。
 - II層：10YR2/2黒褐色粘土質シルト。粘性中。しまりやや弱い。木の根が混じる。表土②。層厚約15～20cm。
 - III層：10YR2/1黒色粘土質シルト。粘性やや強い。しまり強い。直径2～20cm大の礫をやや多く含む。旧表土。層厚約30～40cm。
 - IV層：10YR3/4暗褐色砂。粘性なし。しまり極めて強い。直径2～20cm大の礫を極めて多量含む。地山。層厚約20cm以上。
- (2) 検出遺構 なし
- (3) 出土遺物 なし
- (4) 時代 不明
- (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成28年7月5日付教文第04001号文書で指示した。



図19 小松柵擬定地試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

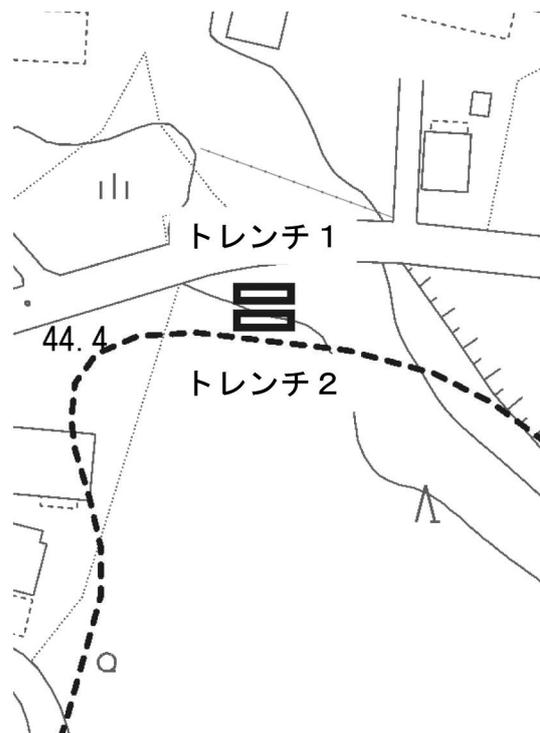


図20 小松柵擬定地トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真35 調査状況



写真36 トレンチ1完掘状況



写真37 トレンチ2完掘状況



写真38 トレンチ2土層断面

11 長崎柵遺跡

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 所在地 | 一関市花泉町永井字大茂103-1 |
| 2 | 調査期日 | 平成29年3月8日～3月10日 |
| 3 | 調査者 | 文化財調査研究員 二階堂里絵 |
| 4 | 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 | 遺跡の現状 | 山林 |
| 6 | 工事主体者 | 株式会社ウエストエネルギーソリューション |
| 7 | 工事の目的 | 太陽光パネル設置工事 |
| 8 | 調査方法 | トレンチ7か所(約140㎡)を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | トレンチ（1か所あたり長さ10m×幅2m）からは、遺構・遺物は確認できなかった。

(1) 基本層序 I層：表土。
II層：地山。

(2) 検出遺構 なし
(3) 出土遺物 なし
(4) 時代 不明
(5) その他 なし |
| 10 | 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成29年3月16日付教文第12008号文書で指示した。 |

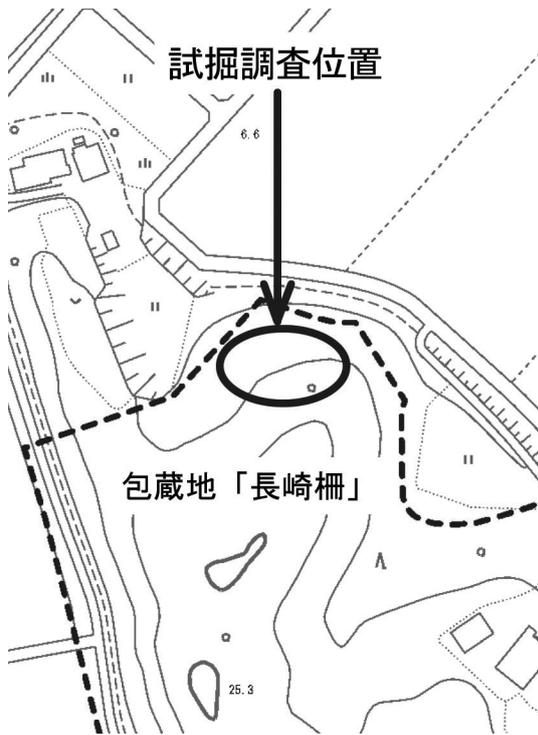


図21 長崎柵試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

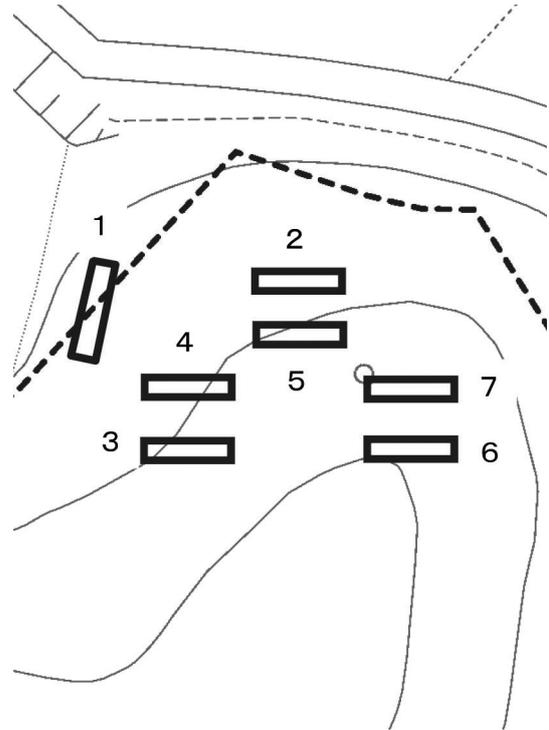


図22 長崎柵トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真39 調査地点西半



写真40 トレンチ1完掘状況(南から)



写真41 トレンチ2完掘状況(南東から)



写真42 トレンチ4完掘状況(東から)

12 中大畑遺跡

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 所在地 | 一関市大東町中川字田河田54-1 |
| 2 | 調査期日 | 平成29年3月21日 |
| 3 | 調査者 | 文化財調査研究員 二階堂里絵 |
| 4 | 遺跡の種類 | 散布地（縄文） |
| 5 | 遺跡の現状 | 畑地 |
| 6 | 工事主体者 | 一関市（一関北消防署） |
| 7 | 工事の目的 | 消防屯所新築に伴う地盤改良工事 |
| 8 | 調査方法 | トレンチ2か所（約8㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | トレンチ（1か所あたり長さ4m×幅1m）からは、遺構・遺物は確認できなかった。

（1）基本層序
I層：表土。層厚20cm。
II層：現代の盛土層。層厚20～30cm。
III層：地山。

（2）検出遺構 なし
（3）出土遺物 なし
（4）時代 不明
（5）その他 なし |
| 10 | 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を口頭で回答した。 |

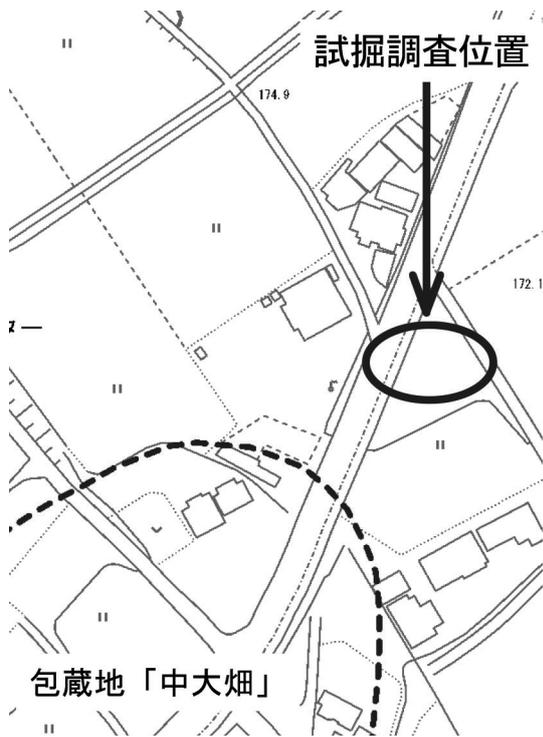


図23 中大畑試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

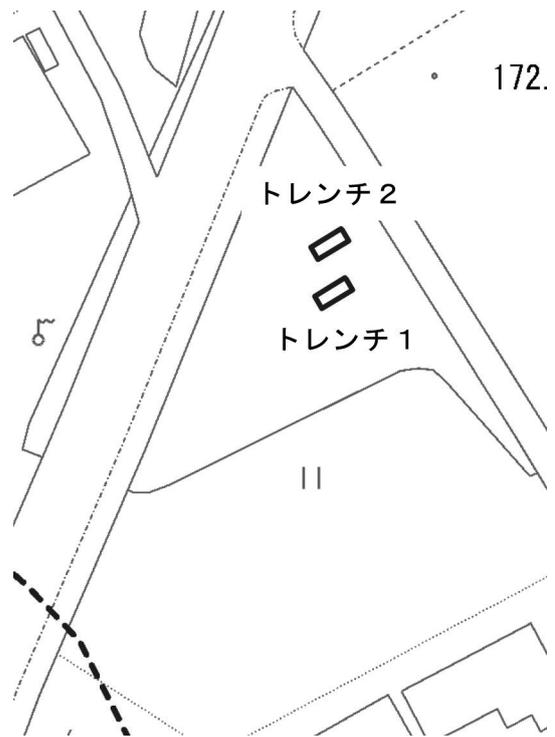


図24 中大畑トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真43 調査地点全景 (西から)



写真44 トレンチ1全景 (北西から)



写真45 トレンチ1南壁土層断面



写真46 トレンチ2全景 (北西から)

IV 平成29年度調査

13 玉崎館（要害）遺跡

- | | | |
|----|-------|--|
| 1 | 所在地 | 一関市藤沢町黄海字上場218-3、218-4 |
| 2 | 調査期日 | 平成29年7月12日 |
| 3 | 調査者 | 学芸員 菅原孝明 文化財調査研究員 二階堂里絵 |
| 4 | 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 | 遺跡の現状 | 原野 |
| 6 | 工事主体者 | 個人 |
| 7 | 工事の目的 | 個人住宅新築工事 |
| 8 | 調査方法 | トレンチ1か所（約5㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | トレンチ（長さ5m×幅2m）からは、遺構・遺物は確認できなかった。斜面地を大きく切土されたと考えられ、地表面から10cmほどで地山に達した。

（1）基本層序 I層：表土。厚さ10cm。
II層：明黄褐色の地山。

（2）検出遺構 なし
（3）出土遺物 なし
（4）時代 不明
（5）その他 なし |
| 10 | 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を平成29年7月12日付教文第04006号文書で指示した。 |



図25 玉崎館試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

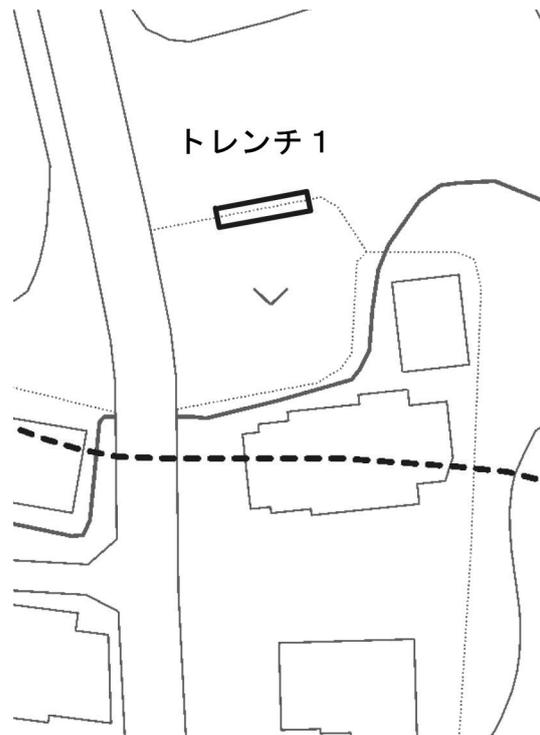


図26 玉崎館トレンチ図
(上が北、S=1:750)



写真47 調査地点全景 (南から)



写真48 トレンチ1全景 (西から)



写真49 トレンチ1南壁 (北東から)



写真50 トレンチ1南壁土層断面

14 大平遺跡

- | | | |
|----|----------|---|
| 1 | 所在地 | 一関市滝沢字滝平 27-1、29-1、字日影 56-4 |
| 2 | 調査期日 | 平成 29 年 10 月 26 日 |
| 3 | 調査者 | 文化財調査研究員 二階堂里絵 |
| 4 | 遺跡の種類 | 城館跡（中世） |
| 5 | 遺跡の現状 | 水田、畑地 |
| 6 | 工事主体者 | 一関市 |
| 7 | 工事の目的 | 道路改良工事 |
| 8 | 調査方法 | トレンチ 6 か所（約 18m ² ）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。 |
| 9 | 調査結果 | トレンチ（1 か所あたり長さ 3 m × 幅 1 m）からは、遺構・遺物は確認できなかった。圃場整備事業に関連して、岩手県教育委員会により試掘調査が必要な旨の回答があった地点である。調査の結果、全体に低湿地であったものを造成して水田や畑地として利用しており、調査地点周辺に遺跡が存在する可能性は低いと判断した。 |
| | (1) 基本層序 | I 層：水田耕作土。層厚 20～30cm。
II 層：造成土。層厚 60～80cm。（この層がないトレンチもあり）
III 層：低湿地層。層厚 20～30cm。
IV 層：地山（検出面）。層厚不明。 |
| | (2) 検出遺構 | なし |
| | (3) 出土遺物 | なし |
| | (4) 時代 | 不明 |
| | (5) その他 | なし |
| 10 | 取り扱い | 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を、平成 29 年 11 月 6 日付教文第 08007 号文書により勧告した。 |

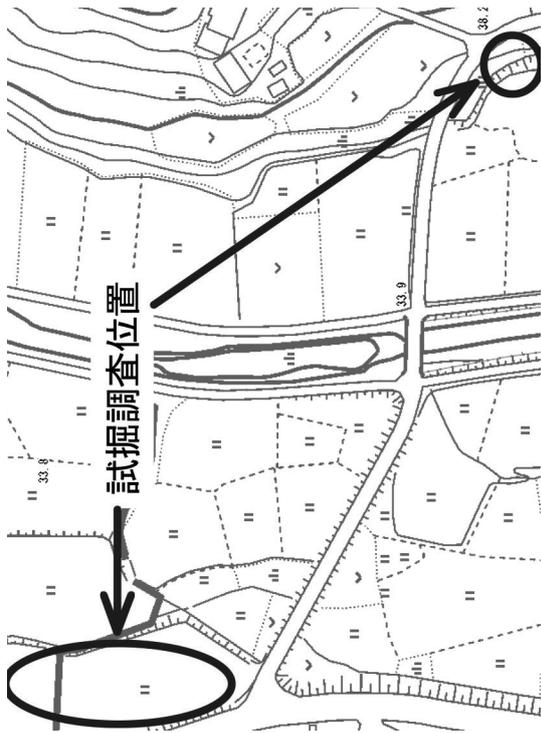


図27 大平試掘調査位置図
(左が北、S=1:2500)

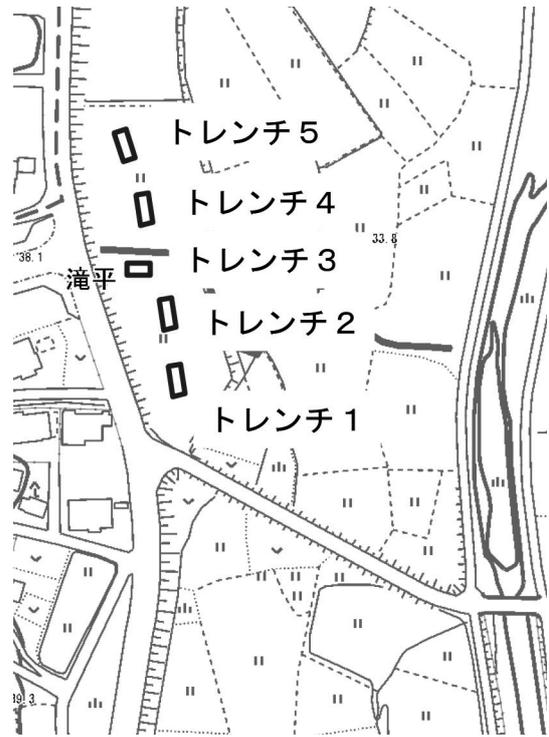


図28 大平トレンチ図
(上が北、S=1:2500)
※トレンチ6は割愛した。



写真51 調査地点1遠景



写真52 トレンチ1全景(東から)



写真53 調査地点2遠景



写真54 トレンチ6全景(西から)

15 上川原、坂下遺跡

- 1 所在地 一関市千厩町奥玉字沖中447-2、447-3、447-4 (①上川原遺跡)、一関市千厩町奥玉字坂下174 (②坂下遺跡)
- 2 調査期日 平成29年12月5日
- 3 調査者 学芸員 菅原孝明 文化財調査研究員 二階堂里絵
- 4 遺跡の種類 ①散布地 ②散布地
- 5 遺跡の現状 ①水田 ②水田
- 6 工事主体者 一関東部土地改良区
- 7 工事の目的 暗渠排水設置工事
- 8 調査方法 ①トレンチ3か所(約24㎡)を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
②トレンチ1か所(約10㎡)を重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 ①トレンチ(1か所あたり長さ4m×幅2m)からは、遺構・遺物は確認できなかった。
②トレンチ(長さ10m×幅1m)からは、遺構・遺物は確認できなかった。
 - (1) 基本層序 ①I層：水田耕作土。層厚20～30cm。
II層：造成土。層厚40cm以上。
②I層：水田耕作土。層厚30cm。
II層：造成土。層厚10cm。
III層：砂層。地山。層厚不明。
 - (2) 検出遺構 なし
 - (3) 出土遺物 なし
 - (4) 時代 不明
 - (5) その他 なし
- 10 取り扱い 遺構・遺物は確認できなかったため、慎重に工事を進めてよい旨を、平成29年12月18日付教文第09014号文書により指示した。

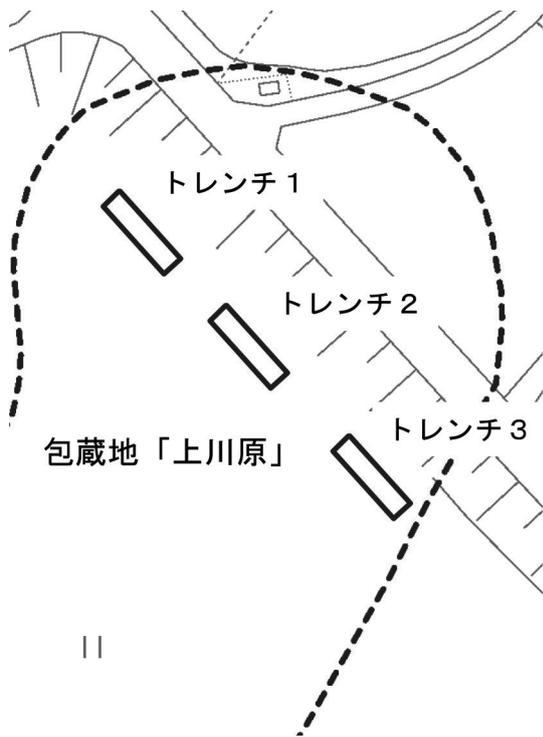


図29 上川原トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



図30 坂下トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真55 上川原調査地点全景 (南東から)



写真56 上川原トレンチ1 (東から)



写真57 上川原トレンチ3 (南東から)



写真58 坂下トレンチ1全景 (南西から)

16 赤荻館（日光館）遺跡

- 1 所在地 一関市赤荻字宿116-2、116-3、116-5、116-6
- 2 調査期日 平成30年3月20日
- 3 調査者 文化財調査研究員 二階堂里絵
- 4 遺跡の種類 城館跡（中世）
- 5 遺跡の現状 山林
- 6 工事主体者 東北電力株式会社送配電カンパニー岩手支社
- 7 工事の目的 鉄塔新設工事
- 8 調査方法 トレンチ10か所（約114㎡）を設定し、重機による掘削で平面・断面を観察した。
- 9 調査結果 トレンチから多くの造成層を確認し、トレンチ4、5において土坑、溝の可能性のある遺構を確認した。複数の平場を造成しているが、建物を構成する柱穴は確認できなかった。
 - (1) 基本層序 I層：10YR4/2灰黄褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまりややあり。金雲母薄片多量、炭化物粒極微量含む。表土。厚さ15cm。
II層：10YR4/3にぶい黄褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまり強い。金雲母薄片やや多く、炭化物粒微量含む。厚さ20cm。
III層：10YR3/5暗褐色砂質シルト。粘性ややあり。しまり極めて強い。炭化物粒微量含む。IV層になる可能性のある10YR4/4褐色粘土質シルトをブロック状に含む。遺構確認面。厚さ10cm以上。東側は厚い。中央・西側は薄く、下部層（IV層になる可能性のある10YR4/4褐色粘土質シルト）のブロックの混入が多い。
 - (2) 検出遺構 土坑、溝、造成層
 - (3) 出土遺物 なし
 - (4) 時代 不明
 - (5) その他 なし
- 10 取り扱い 館にかかわる遺構・遺物を確認したため、3月28日に東北電力株式会社送配電カンパニー岩手支社と協議を行った。その結果、計画変更はできず、工事による遺跡破壊は確実であるとの結論に達した。その後、埋蔵文化財発掘の届出を受け、平成30年4月18日付教文第01019文書により事前の発掘調査の実施を指示した。

発掘調査については、『赤荻館遺跡発掘調査報告書』（岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第26集、平成31年3月）にまとめた。



図31 赤荻館試掘調査位置図
(上が北、S=1:2500)

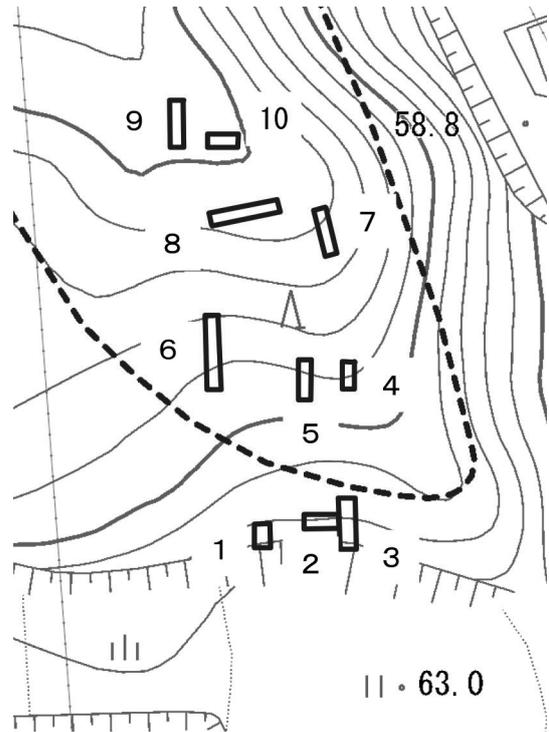


図32 赤荻館トレンチ図
(上が北、S=1:1000)



写真59 調査風景 (北西から)



写真60 トレンチ4全景 (北西から)



写真61 トレンチ5全景 (北西から)



写真62 トレンチ5中央部 (南から)

抄 録

ふりがな	しないいせきしくつちょうさほうこくしょ							
書名	市内遺跡試掘調査報告書							
副書名	平成26年度から平成29年度まで							
巻次								
シリーズ名	岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第40集							
編著者名	菅原孝明・光井文行・阿部充							
編集機関	一関市教育委員会							
所在地	〒029-3105 一関市花泉町涌津字一ノ町29 TEL0191-82-2242							
発行年月日	2024年3月25日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
もくさじんじやし 舞草神社西	いちのせきしまいかわあざ 一関市舞川字 おおだいら 大平5-1	03209	NE77 -2029	38°58'57"	141°9'53"	20140828	25m ²	防火水槽 設置
	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
	散布地	古代、平安		なし		なし		
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
がぎゅうだて 臥牛館	いちのせきしやまのめあざだて 一関市山目字館 46-1	03209	NE96 -0194	38°56'21"	141°7'28"	20141028	約45m ²	進入路設 置
	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
	城館跡	中世		なし		なし		
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かんだじょう 金田城 (樋ノ口館) (第1次)	いちのせきしせんまやちよう 一関市千厩町 きよたあざゆのみ 清田字融実26-1、 27-1、34-1、38、 41-2	03209	NF91 -1127	38°56'10"	141°21'27"	20141125	1116m ²	太陽光パ ネル設置
	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
	城館跡	中世		土坑、柱穴、堀、溝		なし		遺構発見箇所を避ける 計画変更あり。

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かんだじょう 金田 城 (種ノ口館) (第2次)	いちのせきしせんまやちょう 一関市千厩町 きよたあざゆのみ 清田字融実34-2	03209	NF91 -1127	38°56'10"	141°21'27"	20141224	64㎡	太陽光パ ネル設置
		種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
		城館跡	中世	なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
		まがたて 曲田館 (大西館)	いちのせきしふじまわちょう 一関市藤沢町 きのみあざかみまがた 黄海字上曲田 161-8、174-10	03209	OF49 -1088	38°47'45"	141°15'5"	20141218
種別	主な時代			主な遺構	主な遺物	特記事項		
城館跡	中世			なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
		たきざわみなくち 滝沢水口	いちのせきしきざわあざ 一関市滝沢字 みなくち 水口83-26	03209	OE07 -0178	38°54'49"	141°10'34"	20150330
種別	主な時代			主な遺構	主な遺物	特記事項		
散布地	縄文			なし	なし			
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
		いわ したやしき 岩の下屋敷	いちのせきしひがしやまちょう 一関市東山町 まつかわあざいわのした 松川字岩ノ下195- 1	03209	NE88 -2367	38°56'51"	141°14'64"	20150915
種別	主な時代			主な遺構	主な遺物	特記事項		
その他の 遺跡(屋 敷跡)	中世、近世			堀	なし	堀の分布密度は希薄 と考えられ、工事着 手可とした。		
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
		きろくだて 木六館 (黄鹿館)	いちのせきしせんまやちょうせん 一関市千厩町千 まやあざかみきろく 厩字上木六254	03209	OF01- 1149	38°54'24"	141°21'35"	20151020
種別	主な時代			主な遺構	主な遺物	特記事項		
城館跡	中世			土坑	羽口、鉄滓、炭化物	鍛冶関連遺構・遺物 を確認した。		

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
な ら か 奈良坂	いちのせきしはいづみちよう 一関市花泉 町 はなみづみあざさかいまえ 花泉字境前54、 55、56、57	03209	OE26- 2262	38°50'45"	141°7'55"	20160208 ～ 20160219	1,440㎡	暗渠排水 設置					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									散布地	縄文	旧水田、旧河川	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		種別	主な時代						主な遺構	主な遺物	特記事項		
こまつのさく 小松柵 ぎていち 擬定地	いちのせきしはぎしやうあざ 一関市萩 荘字谷 ぎしまみなみかた 起島 南方40-1	03209	NE95- 2351	38°55'30"	141°5'43"	20160704	10㎡	携帯電話 基地局設 置					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									城館跡	平安	なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		種別	主な時代						主な遺構	主な遺物	特記事項		
ながさきのさく 長崎柵	いちのせきしはいづみちよう 一関市花泉 町 ながい あざおおしげ 永井字大茂103-1	03209	OE58- 0041	38°47'6"	141°11'46"	20170308 ～ 20170310	140㎡	太陽光パ ネル設置					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									城館跡	中世	なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		種別	主な時代						主な遺構	主な遺物	特記事項		
なかおほた 中大畑	いちのせきしだいとうちようなか 一関市大東町中 かわあざたこうだ 川字田河田54-1	03209	NF41- 1368	39°4'13"	141°22'52"	20170321	8㎡	地盤改良					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									散布地	縄文	なし	なし	
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因					
		市町村	遺跡番号										
		種別	主な時代						主な遺構	主な遺物	特記事項		
たまぎだて 玉崎館 ようがい (要害)	いちのせきしふじさわちよう 一関市藤沢 町 きののみあざじょうば 黄海字上 場218- 3、218-4	03209	OF20- 1171	38°51'8"	141°18'2"	20170712	5㎡	個人住宅 新築					
									種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
									城館跡	中世	なし	なし	

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おおだいら 大平	いちのせきしたきざわあざたきの 一関市滝沢字 滝 ひら 平27-1、29-1、字日 かげ 影56-4	03209	NE97- 1144	38°55'57"	141°10'21"	20171026	18㎡	道路改良
	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
	散布地 集落跡 その他の 墓	縄文、平安、近世	なし	なし				
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
	いちはせきしせんまやちようおく 一関市千厩町奥 たまあざおきな 玉字沖中447-2、 447-3、447-4	03209	NF81- 1256	38°57'38"	141°22'2"	20171205	24㎡	暗渠排水 設置
種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
散布地	縄文	なし	なし					
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
	いちのせきしせんまやちようおく 一関市千厩町奥 たまあざさかした 玉字坂下174	03209	NF81- 2208	38°57'21"	141°22'13"	20171205	10㎡	暗渠排水 設置
種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
散布地	縄文	なし	なし					
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
	いちのせきしあこぎあざしゆく 一関市赤荻字 宿 116-2、116-3、 116-5、116-6	03209	NE95- 0340	38°56'37"	141°5'50"	20180320	114㎡	鉄塔新設
種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項				
城館跡	中世	土坑、溝、造成層	なし	後日発掘調査実施。				

岩手県一関市埋蔵文化財発掘調査報告書第40集

市内遺跡試掘調査報告書

－平成26年度から平成29年度まで－

発行年月日 令和6月3月25日

編集・発行 一関市教育委員会文化財課
〒029-3105
岩手県一関市花泉町涌津字一ノ町29
電話 (0191) 82-2242

印刷 コンカツ印刷有限公司
〒021-0021
一関市中央町一丁目7-16
電話 (0191) 48-5963